【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成29年1月26日(2017.1.26)

【公表番号】特表2016-501261(P2016-501261A)
【公表日】平成28年1月18日(2016.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2016-004
【出願番号】特願2015-546419(P2015-546419)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/785　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/785
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02

【手続補正書】
【提出日】平成28年12月5日(2016.12.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アポトーシスの異常なメカニズムを伴う血液腫瘍性増殖性疾患の治療において活性物質として使用するための、パターン１のマルトトリオースで被覆された第四世代ポリプロピレンイミンデンドリマーＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩ（ここで、Ｒは、マルトトリオース粒子を意味する）。
【請求項２】
前記アポトーシスの異常なメカニズムを伴う血液腫瘍性増殖性疾患が、ヒトにおける慢性リンパ性白血病である、請求項１に記載の使用のための、パターン１のマルトトリオースで被覆された第四世代ポリプロピレンイミンデンドリマーＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩ（ここで、Ｒは、マルトトリオース粒子を意味し、オープンコート（ＯＳ）を形成する表面マルトトリオース（Ｍａｌ－ＩＩＩ）基の数は、２２～３２個であり、前記第四世代ポリプロピレンイミンデンドリマー（ＰＰＩ－Ｇ４）粒子のアミノ基数に対して３５～５０％に相当する）。
【請求項３】
パターン１のマルトトリオースで被覆された第四世代ポリプロピレンイミンデンドリマーＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩ（ここで、Ｒは、マルトトリオース粒子を意味し、オープンコート（ＯＳ）を形成する表面マルトトリオース（Ｍａｌ－ＩＩＩ）基の数は、２２～３２個であり、前記第四世代ポリプロピレンイミンデンドリマー（ＰＰＩ－Ｇ４）粒子のアミノ基数に対して３５～５０％に相当する）の使用であって、前記ＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩデンドリマーを所望の治療結果を達成する有効量で含む、ヒトにおけるアポトーシスの異常なメカニズムを伴う血液腫瘍性増殖性疾患の治療または軽減のための組成物を製造するための抗腫瘍薬としての使用。
【請求項４】
前記組成物が、アポトーシスメカニズムを誘導し、白血病リンパ球を破壊することによる慢性リンパ性白血病の治療または軽減のために設計されている、請求項３に記載の使用

。
【請求項５】
前記組成物が、医薬組成物である、請求項３または４に記載の使用。
【請求項６】
前記医薬組成物が、静脈内投与に適する形態であり、治療上有効量の前記ＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩデンドリマーおよび静脈内投与に適する医薬的に許容される溶媒であるＰＢＳ（リン酸緩衝食塩水）のような生理食塩緩衝液を含む単回用量に分割されている、請求項５に記載の使用。
【請求項７】
静脈内投与に適する形態であり、治療上有効量のＰＰＩ－Ｇ４－ＯＳ－Ｍａｌ－ＩＩＩデンドリマーを含む、ヒトにおけるアポトーシスの異常なメカニズムを伴う血液腫瘍性増殖性疾患の治療または軽減のための医薬組成物。